

参考

石綿処理関連資料

産業医科大学 黒崎 靖嘉
東 敏昭

石綿含有シール材など、石綿含有製品の海外における安全処理マニュアルやガイドラインを中心に収集した資料の概要

- 1. Safe Work Practices for Handling Asbestos, BK27, WorkSafeBC, 2006**
http://www.worksafebc.com/publications/health_and_safety/by_topic/assets/pdf/asbestos.pdf
カナダのWorkSafeBC (Worker's Compensation Board of British Columbia) が公開している、石綿を取り扱う作業者の安全確保のためのマニュアル。保護具、設備などについて記載あり。
- 2. Gloverbag Asbestos Abatement, 2005(2006)**
<http://www.wbdg.org/ccb/VA/VAASC/VA01570.doc>
米国・National Institute of Building Sciences (建築科学会) のWhole Building Design Guideが公開している、石綿除去作業に関するマニュアル。グローブバッグのみでなく、その他の保護具や設備、除去作業時に必要となる検出など一連の作業について記載あり。
- 3. Asbestos Management Plan, The University Of Queensland, 2006**
<http://www.uq.edu.au/ohs/pdfs/asbesplan.pdf>
オーストラリアのクイーンズランド大学が公開している、石綿除去作業のガイドライン。対応フローチャートやチェックリストなどが掲載されている。
- 4. ASBESTOS CEMENT POLICY, Holroyd City Council, 2005**
<http://www.holroyd.nsw.gov.au/html/eps/health/asbestoscementpolicy.pdf>
カナダ・ホルロイド市評議会が公開している、石綿製品除去時の作業者の安全確保に関するガイド。他の情報サイトへのリンクが充実している。
- 5. Handling and Disposal of Asbestos Waste, Waverley council, 2005**
<http://www.waverley.nsw.gov.au/publications/pdfs/Asbestos-Policy.pdf>
オーストラリア・ウェーバリー協議会が公開している、石綿廃棄物の取り扱いガイド。簡潔にまとめられている。
- 6. Ontario Regulation 278/05; Designated substance - Asbestos on construction projects and in building and repair operations; 2005**
カナダ、オンタリオ州の規制対象物質 (石綿) の取り扱いについての規定・規制。ケベックと対極をなす、石綿規制の先進エリアで、内容は細目にわたっており、特に建材、建築物中の

既存石綿についての保全、除去から廃棄までの方法を製品別に記載。全20ページ。

7. **Handling, Transportation and Disposal of asbestos; Environmental Protection Act, RSO 1990, Sec. 27 Ontario Regulation 347, Section 17; Queen 's Printer for Ontario, 2005**

<http://www.ene.gov.on.ca/envision/gp/0271.htm>

上記の環境負荷に対しての対策に関する規定。

8. **R Virta; Mineral Commodity Profiles-Asbestos; U.S. Geological Survey, Reston, Virginia, 2005**

米国政府 (Department of Interior, 地質研究所) の刊行物で、体系的な総合レポート。石綿の性質、含有製品の種類、現在の使用用途、代替品の現状、派生的な用途、埋蔵・産出、鉱山・採掘、製品リサイクル、環境負荷、産業構造、マーケット、供給と需要、戦略的考察、持続性、経済的要因、健康・安全、信頼性、税・関税、政府プログラム、健康リスクについて総説。全55ページ。

9. **Asbestos Control Program, Algonquin College, 2004**

http://www.algonquincollege.com/physical_resources/Document%20Inserts/Occupational%20Health%20&%20Safety%20Programs/Asbestos%20Control%20Program.pdf

カナダ・アルゴンキン大学が公開している、石綿除去作業の安全化マニュアル。除去作業時に利用できるチェックリストが掲載されている。

10. **CODE OF PRACTICE ON THE HANDLING, TRANSPORTATION AND DISPOSAL OF ASBESTOS WASTE, Environmental Protection Department, 2003(2004)**

http://www.epd.gov.hk/epd/english/environmentinhk/waste/guide_ref/files/asbest_e.pdf

香港・Environmental Protection Department (環境保護署) が公開している、アスベスト廃棄物の取り扱い・輸送・廃棄についての倫理要綱。香港における石綿廃棄物の分類・掲示・手続きなどの記載あり。

11. **Asbestos Waste Management Regulations; Province of Nova Scotia; 2003**

<http://www.gov.ns.ca/just/regulations/regs/env5395.htm>

カナダの石綿含有廃棄物管理の状況。極めて簡略化された、監督、有害性定義、建築物からの除去、安全装置、気中への発じん防止、梱包方法・資材の仕様・補修、移送規定、運搬機器に仕様・規制、積み下ろし場所・受け取りの制限事項、廃棄場所・埋め立てエリア、廃棄物の被覆、監督、既存の使用済み廃棄場所の管理についての規定。

12. **ACOP for the Management and Removal of Asbestos, Irish Asbestos Abatement Federation, 2002**

http://www.safewaygroup.com/code_of_practice.pdf

アイルランドのSábháilte Teoranta社が公開している、Irish Asbestos Abatement Federation発行の石綿除去等の倫理要綱。作業計画・検出・保護具・設備・廃棄・訓練・健康管理といった一連の流れを網羅している。

13. **CODE OF PRACTICE FOR THE SAFE REMOVAL OF ASBESTOS 2ND Edition , NOHSC, 2002 (2005)**

<http://www.ascc.gov.au/NR/rdonlyres/1A198A7C-D0A7-40AD-964E-31673C695E92/0/AsbestosCode.pdf>

オーストラリアのAustralian Safety and Compensation Council (オーストラリア安全保障評議会) が公開している、National Occupational Health and Safety Commission (労働安全衛生委員会) 発行の石綿の安全除去に関する要綱。ガasketを含む、各種の石綿含有製品の同定や除去について記載。

14. **Guide to interpretation of requirements for safe removal of asbestos, NOHSC, 2002(2005)**

<http://www.wst.tas.gov.au/attach/wstdg-asbest-2.pdf>

オーストラリア・タスマニア州のDepartment of Justice (司法省) Workplace Standards (作業場基準諮問会議) が公開している、石綿の安全除去作業に必要とされる要件についてのガイド。資格者要件や除去作業時の検査・周囲への掲示などについて記載あり。

15. **Kirkland & Ellis; Asbestos waste disposal practices in the United States (2005)**

総合的な有害化学物質を含むあるいは有害物質の廃棄物処理に関する各国の関連規制をとりまとめた冊子で、各種資料のコピーで構成される。全150ページ。

16. **PROPOSED ASBESTOS MANAGEMENT POLICY FOR JAMAICA, NATIONAL ENVIRONMENT AND PLANNING AGENCY, 2002**

<http://www.mle.gov.jm/Policies/ASBESTOSMGTPOLICY.PDF>

ジャマイカ・National Environment and Planning AgencyのAsbestos Task Forceが公開している、石綿除去作業における安全化マニュアル。倫理要綱、除去作業のみでなく廃棄や管理作業時の注意、作業時のチェックリストなどの記載もあり。

17. **Labour Protection Requirements in Work with Asbestos, 2002**

<http://www.osha.lv/legislation/eng/373.pdf>

ラトビアのEuropean Agency for Safety and Health at Workが公開している資料。石綿含有製品を使用する作業者の安全を確保するための必要要件について列挙している。

18. **Guideline for the Management of Waste Asbestos, 1998**

<http://www.enr.gov.nt.ca/library/pdf/eps/asbestos2.pdf>

カナダ・Environment and Natural Resourcesが公開している、石綿廃棄物の輸送・廃棄に関

するガイドライン。

19. Asbestos cement waste in Europe; 1998

1998年3月9日の欧州（EU）指令。ここでは、建築物に使用されたもの（石綿含有建材、石綿含有断熱材）のうち、石綿含有断熱材を危険性のある廃棄物として規定。埋め立てにおいて、飛散防止、放出防止の厳しい規定を設けることを指示。フランス石綿協会（AFA）の1994年11月9日のEU関連報告では、低密度の飛散性製品を規制し、高密度の建材（スレート等）については飛散性は少ないという考え方が背景と示唆。

20. Guidelines for the Management and Removal of Asbestos, Occupational Safety & Health Service, Department of Labour, 1995

<http://www.osh.govt.nz/order/catalogue/pdf/asbmgmt.pdf>

ニュージーランドの労働省が公開している、石綿の安全除去に関するガイドライン。検査・保護具・設備・除去・廃棄までの一連の流れ、健康管理について記載あり。

21. Types of Waste; 8-Waste Handling, Peters & Peters, Elsevier, (1994)

Peters & PetersのAsbestos Source bookにある概要 固形乾燥廃棄物と湿性廃棄物に区分し、被覆・飛散防止での輸送、飛散しない状態での廃棄、埋め立てについて記述。

22. Amended proposal for a COUNCIL DIRECTIVE on the landfill of waste; Europe Environment N° 413-July 6; 1993

European Communityの廃棄物埋め立てに関する規制内容。15と重複する部分があるが、廃棄物の希釈、混合の禁止を含む規制内容が修正要綱として関連してくる。全30ページ。

23. AIA; Council regulation (EEC) No 259/93 of 1 Feb. 1993 on the supervision and control of shipments of waste within, into and out of the European Community; 1993

European Communityの規制内容についての、AIA（国際石綿協会）を通じてのレポート。具体的規制内容はほぼこのまま15月後に発効。全30ページ。

24. International Conference on Asbestos Products; Reduction and Recycling of WASTE in the Asbestos-Cement Manufacturing Process. Hard Waste Sludge Process Water Effluents; Kuala Lumpur Nov. 3-6, 1991

A I（カナダ石綿研究所）による講習資料。固形乾燥廃棄物の減量と再利用、含有水の処理と再利用、スラッジの再利用について記載。

25. E Bontempelli, C Ciccarelli, A Marconi, E Munafo, R Salvi; Recommended technical procedure for the disposal of asbestos-containing waste; CEDAF; 1989

石綿産出国、製品製造国で発がん性物質の体系的動物実験評価の先進国であったイタリアの石綿含有廃棄物の取り扱いについての技術ガイドライン。基本的にはILOの綱領、米国EP

Aのレポートに同じ内容。処理技術についての検討は無く、廃棄、埋め立て場所についての解説に詳しい。

26. **CODE OF PRACTICE FOR THE SAFE REMOVAL OF ASBESTOS, South Australian Government, 1986**

<http://www.pswr.sa.gov.au/publications/docs/resCOPAsbestosRemoval.pdf>

オーストラリア・南オーストラリア州のPublic Sector Workforce Relationsが公開している、石綿製品の安全除去についてのガイドライン。古い資料だが、保護具などについて詳細に記載されている。

27. **EPA; Asbestos Waste Management Guidance; EPA, Washington DC; 1985**

米国環境保護庁の古典的の石綿廃棄物管理ガイダンス。石綿除去、処理、廃棄についての基本的体系は既にこの中に全て記載されている。全32ページ。

28. **ILO Codes of Practice; Safety in the use of asbestos; 9. The disposal of asbestos waste (1984)**

カナダの労働衛生安全(情報)センター(CCOHS)によるILOの基準書(Code of Practice)。廃棄物の収集、断熱材の除去、高密度製品の処理、廃棄物中石綿の同定、搬送、廃棄基準、個人保護、監督についての基準。日本石綿協会による和訳あり。

29. **Guidance Note EH 36 from the Health and Safety Executive.; Work with asbestos cement; Environ Hyg 36; Oct 1984**

英国の初期の規制・マニュアル文書：破碎、除去作業についての規制概要：廃棄についての詳細はない。

30. **J.S. Dupre, J.F. Mustard, R.J. Uffen; Chap. II. Waste Disposal; Report of The Royal Commission on Matters of Health and Safety Arising from the Use of Asbestos in Ontario (1984)**

1984年の国際会議でORCAとして有名な歴史的の石綿に関する総合対策報告。第2巻の677 - 684に廃棄物処理についての記載。

31. **Dept. of The Environment; Waste Management Paper No 18 Asbestos Wastes; London Her Majesty's Stationery Office, 1979**

英国の綿含有廃棄物の取り扱いについての労働衛生庁の実施綱領(マニュアル)を含む技術ガイド。リサイクルについては可能性を示唆するのみ。全22ページ。

32. **W. N. Fuller; Movement of Selected Metals, Asbestos, and Cyanide in Soil: Applications to Waste Disposal Problems; U.S. Dept. of Commerce, NTIS; 1977**

米国商務省の1977年における石綿廃棄物を取り上げたレポート。